

令和4年別府市10大ニュース

【対象期間：令和4年1～12月】

NO.	月	事項(タイトル)	内容	部署
1	通年	温泉まつりなど3年ぶりに大規模イベントを開催	基本的な感染症対策を実施し、3年ぶりに様々な大規模イベントが開催されました。春の温泉まつりに始まり、一気登山、別府アルゲリッチ音楽祭、由布岳山開き、火の海まつり、マーチングカーニバル、市民学生大同窓会、市民と消防のつどい、クリスマスファンタジアといった恒例のイベントに加え、障がいや性、世代、国籍を超えたダイバーシティイベント「True Colors CARAVAN in BEPPU」や湯のまち棚田マルシェなど新しいイベントも開催しました。	観光・産業部 市民福祉部 消防本部
2	3	「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に市内5箇所の棚田が認定	棚田地域の振興に関する取組みを積極的に評価し、棚田地域の活性化を目的とした本件に、市内5箇所(内成、天間、東山、大所、堂面)の棚田が農林水産省より認定されました。10月には、認定を記念し、多くのお客様に棚田地域の魅力を伝えることを目的としたイベント「ゆのまち棚田マルシェ」を開催しました。	観光・産業部
3	3	ウクライナ避難民の受け入れ	別府市は、3月8日にウクライナ避難民の受け入れを表明し、4月16日に第一陣の4名(男性2名・女性2名)を受け入れました。令和4年12月末現在では、25名のウクライナ避難民の方々が市内で生活しています。	防災局
4	4	別府市公会堂市民会館大ホールリニューアル	市民会館大ホールの改修を行いました。老朽化した椅子は座席数を559席から407席へ減らし、前後左右の間隔を空けゆったりと快適に利用できるようになりました。舞台照明はLED化を行い多彩な演出が可能になりました。また、緞帳は竹細工をイメージしたものに新調しました。	教育部
5	6	別府市立図書館開館100周年	別府町時代の正11年6月10日に北尋常高等小学校に併設開館された図書館は100周年の記念すべき節目を迎えました。4月には読書活動推進の優良団体として初の文部科学大臣表彰を受賞するとともに、年間をとおして記念事業(「大別府展」「別府市立図書館帯の大博覧会」等)を開催しました。現在、次の100年に繋げる、令和7年度に完成予定となる新図書館整備事業を進めています。	教育部
6	9	全公立小中学校・地区公民館体育館の空調整備	近年の記録的な猛暑や大規模化、激甚化する自然災害に対応するため、子どもたちの熱中症対策及び避難所の環境改善対策として、小中学校体育館20施設、地区体育館等6施設に空調機器を令和6年度までに設置することを決定しました。全ての公立小中学校体育館に空調設備を整備するのは大分県で初めての試みとなります。	教育部

NO.	月	事 項 (タイトル)	内 容	部署
7	9	新湯治・ウェルネスツーリズム構想の推進	新湯治・ウェルネスツーリズムとは、科学的根拠を踏まえた温泉入浴の療養効果を発信し、「医療・美容・健康」をテーマに新たな価値を創造していく取組です。12月に開催した別府ONSENアカデミアの腸内細菌検査を活用した温泉効果に関する実証実験の結果などを今後も集積し、旅館ホテル、飲食店、温浴施設など別府市全体で稼ぐ仕組みを確立し、教育や福祉の充実を図ります。別府と言えば「新湯治・ウェルネス」というブランディングを確立していきます。	建設部
8	10	学校給食費の保護者負担軽減	物価高騰の影響を受ける子育て世帯に対する支援策として、10月から学校給食費の保護者負担を軽減する制度を実施しました。公立の幼稚園及び小中学校の給食費を子ども1人目と2人目は半額、3人目以降は無料とし、私立においても公立と同等の軽減額を補助しています。別府市外の学校に通学していても対象となります。補助対象児童生徒等6,142人、補助期間は10月分から来年3月分までの6か月間です。	教育部
9	10	第131回九州市長会の別府市開催	10月18日、19日に杉乃井ホテルにて九州市長会が開催されました。別府市では平成17年5月以来17年ぶりとなる開催で、九州112市の市長が一堂に会し、「九州はひとつ」の合言葉のもと、今後の地方自治の興隆繁栄に寄与する議論を交わしました。	市長公室
10	11	「別府竹細工」が地域団体商標に登録	伝統的工芸品「別府竹細工」が特許庁の地域団体商標に登録されました。別府竹細工の産地組合である別府竹製品協同組合の組織強化、別府竹細工のブランド力の強化につながるものと期待しています。 ※地域団体商標制度は、地域の産品等について、事業者の信用の維持を図り、「地域ブランド」の保護による地域経済の活性化を目的としています。	観光・産業部